

健康ワンポイントアドバイス



発行：十日町市中魚沼郡医師会

発行日：平成29年5月発行

第178号

「職域におけるがんと就労」について

新潟産業保健総合支援センター 副所長 須貝 澄夫 氏

皆様に質問です。鳥越俊太郎さん、間寛平さん、おすぎとピーコのピーコさん、和田アキ子さんに共通するものは何かお分かりになりますか？そうです。がんの経験者ということです。

多くの方はがんは稀な病気と考えるかもしれませんが、日本人の2人に1人ががんに罹患すると推計されています。年間約85万人が新たにがんと診断されており、そのうち3割が就労世代（20から64歳）です。

がんというと不治の病というイメージではないでしょうか？

しかし、2003年から2005年の間にがんと診断された方の6割が5年後も生存していらっしゃいますし、入院日数は2002年には35.7日だったものが、2014年には19.9日へ短縮されています。

仕事をもちながらがんで通院している方は32.5万人おり、がんは長く付き合う病気へと変化しています。一方でがんに罹患した労働者の中には「仕事が忙しいから、あるいは職場に迷惑をかけるから」との理由で通院を中断したり、退職に至るケースも多く、職場の理解や支援体制の整備が望まれます。

新潟産業保健総合支援センターでは治療と職業生活の両立支援として以下の支援を行っております。

1. 人事労務担当者、産業保健スタッフ、医療関係者に対する研修・情報提供
2. 両立支援に取り組む関係者等への相談対応・個別訪問
3. 医療機関と連携し、事業場と患者である労働者間の個別調整支援

個別調整支援については平成29年3月末現在、新潟県立がんセンター新潟病院及び新潟市民病院と両立支援に関する協定を結び、対応しております。それ以外の病院へ通院する患者の方につきましても、支援は可能です。

詳細は当センターへお問い合わせください。

新潟産業保健総合支援センター

〒951-8055 新潟市中央区磯町二ノ町 2077 番地

朝日生命新潟万代橋ビル 6階

【TEL】025-227-4411

【FAX】025-227-4412

【MAIL】sanpo@niigatas.johas.go.jp

【HP】<http://www.niigatas.johas.go.jp>



新潟産業保健総合支援センター
〒951-8055 新潟市中央区礎町二ノ町2077番地
朝日生命新潟万代楼ビル6階
[TEL]025-227-4411
[FAX]025-227-4412
[MAIL]sanpo@niigatas.johas.go.jp
[HP]http://www.niigatas.johas.go.jp

両立支援の進め方

